ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

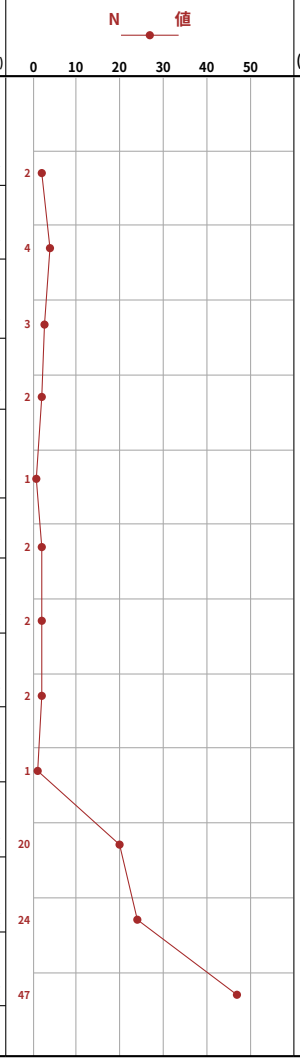
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-3（STA.No.46+16CL）	調査位置				北　緯	36 ° 35 ’ 00.0000 ”
発 注 機 関	栃木県真岡土木事務所 整備部整備第一課			調査期間	2010-08-31 ～ 2010-09-01	東　経	140 ° 00 ’ 31.0000 ”
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	129.27 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	12.45 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	128.87	0.40	0.40		黒ボク (Kb)	黒褐		軟い	含水量少なく粘性やや大きい 植物根と少量の軽石が混じる		
1	126.87	2.00	2.40		ローム (Lm)	褐		軟い	含水量は少なく，粘性は中位～やや小さい 0.50m付近まで七本桜・今市軽石が混入する 2.10m以深は軽石が混じる		
2	126.27	0.60	3.00		鹿沼軽石 (Pm)	黄褐		軟い	粒径φ1～2mm程度で多孔質構造 含水量非常に多い 炭化物が混じる		
3	125.37	0.90	3.90		ローム (Lm)	褐		軟い	含水量は少なく粘性は中位		
4	124.87	0.50	4.40		軽石 (Pm)	黄褐	非常に軟い		粒径がφ1～4mm程度で多孔質構造 炭化物を少量混入し，粒子の弱い風化が見られる		
5					ローム (Lm)	褐		非常に軟い	[5.50]含水量は中位で，粘性は大きい [6.30]全体的に軟質 [6.70]下部に従って炭化物が多く混じり，所々凝灰質な部分を挟んでいる [7.70]7.40～7.80mは低含水で半固結な部分を薄く挟む [8.60]7.80～8.00m間にスコリアが混じる [9.50]9.45m付近から層厚10cm程度の軽石層を確認		
10	118.97	5.90	10.30		粘土混じり砂礫 (GS-C)	灰褐	中ぐらい		φ20～40mmの円・亜円礫が主体 風化礫を多く混入する粘土混じり砂礫である 礫間は多量の粘土と粒径不均一な砂により充填されている		09/01 10.55
12	116.82	2.15	12.45								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／21	1		2／31	2
1.46					
2.15	1／9	1／9	2／12	4／30	4
2.45					
3.15	1／15	1／11	1／9	3／35	3
3.50					
4.15	1／17	1／14		2／31	2
4.46					
5.15	0／25	1／25		1／50	1
5.65					
6.15	1／15	1／15		2／30	2
6.45					
7.15	1／17	1／13		2／30	2
7.45					
8.15	1／18	1／12		2／30	2
8.45					
9.15	1／30			1／30	1
9.45					
10.15	1	8	11	20／30	20
10.45					
11.15	4	8	12	24／30	24
11.45					
12.15	22	14	11	47／30	47
12.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						08/31
						09/01